

 日本調剤株式会社

平成27年3月期 決算説明資料

平成27年5月13日

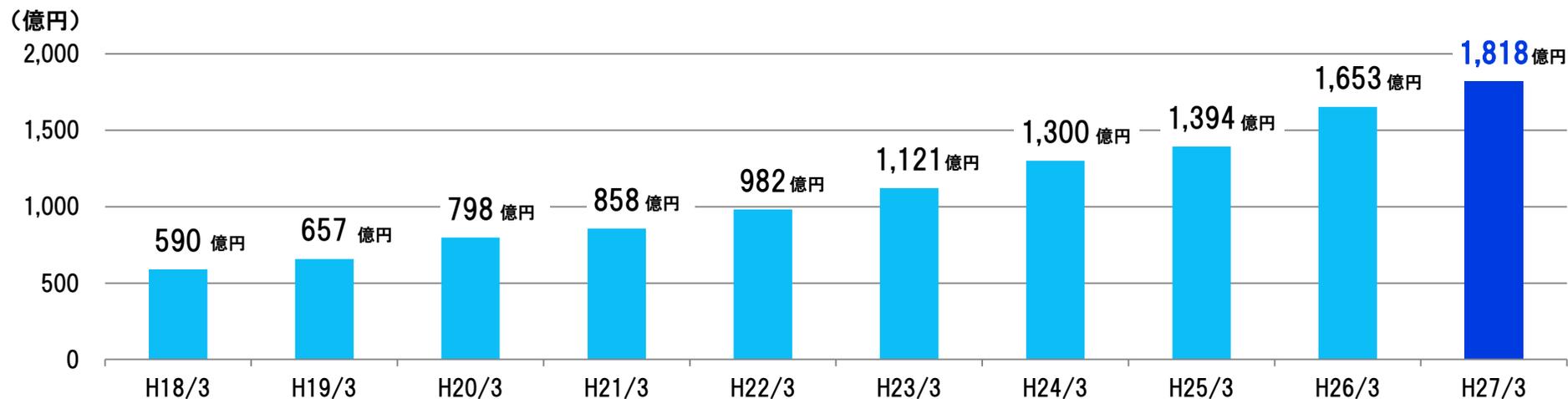
(東証一部／証券コード 3341)

Copyright (C) 2015 Nihon Chouzai Co., Ltd. All rights reserved.

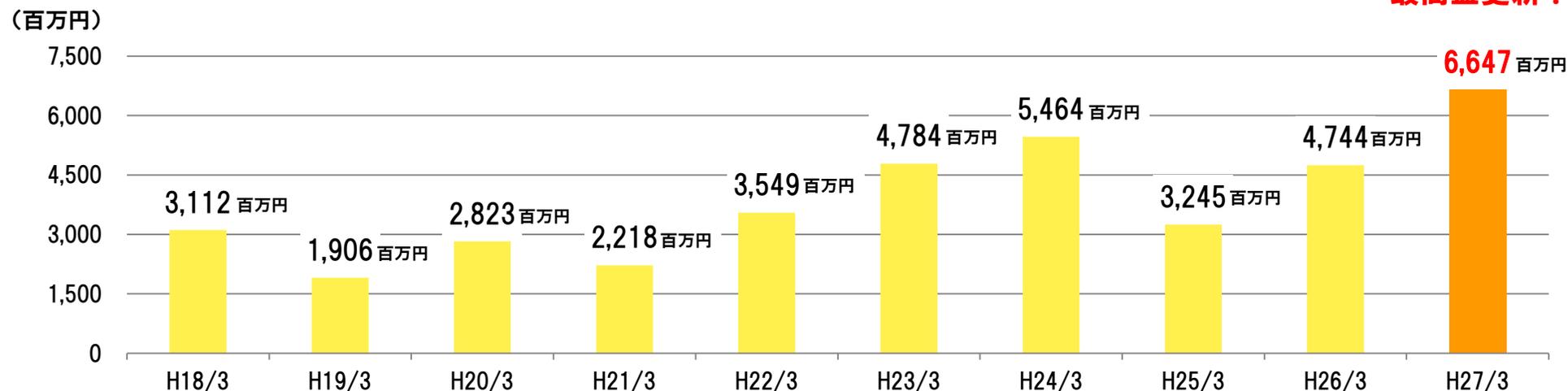
I-①. 平成27年3月期 業績報告

連結 売上高・営業利益の推移

◆ 連結売上高



◆ 連結営業利益



連結損益計算書

平成27年3月期は薬価改定年度ながら増収増益を実現。

(単位:百万円)

	H24/4-H25/3	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	対前年同期 増減額	同 増減率	H27/3 通期予想※
売上高	139,466	165,347	181,844	16,497	10.0%	188,576
売上原価	117,972	139,723	149,915	10,191	7.3%	155,257
売上総利益	21,494	25,623	31,929	6,306	24.6%	33,318
販管費	18,248	20,878	25,281	4,402	21.1%	26,658
営業利益	3,245	4,744	6,647	1,903	40.1%	6,660
対売上比(%)	2.3%	2.9%	3.7%	—	—	3.5%
経常利益	2,855	4,188	6,003	1,815	43.3%	6,080
当期純利益	184	1,901	2,778	876	46.1%	3,202
自己資本当期純利益率	1.3%	12.5%	16.6%	—	—	—
総資産経常利益率	3.1%	3.9%	4.9%	—	—	—

※当社会計処理では控除対象外消費税等については販管費に計上しております

※平成26年4月30日付 公表数値

連結 セグメント別売上高

調剤薬局事業は処方せん単価の上昇と前年及び当年出店店舗が寄与。

医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業は、

市場の拡大を背景とし、グループ連携強化等により順調に業容を拡大。

(単位:百万円)

	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
調剤薬局事業	145,954	157,993	86.9%	12,039	8.2%
うち一般薬等売上	1,980	1,911	1.1%	△68	△3.5%
医薬品製造販売事業	15,489	18,335	10.1%	2,846	18.4%
医療従事者派遣・紹介事業	3,903	5,515	3.0%	1,611	41.3%

連結 販管費内訳

消費税率引上げにより販管費は増加したものの、
経費抑制の徹底により増加率は売上総利益の伸びを下回る水準。
医薬品製造販売事業における先行投資として、研究開発を積極的に推進。

(単位:百万円)

	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	構成比	対前年同期 増減額	同 増減率
販 管 費	20,878	25,281	13.9%	4,402	21.1%
（ 給 与 手 当 ）	3,260	3,378	1.9%	118	3.6%
（ 賃 借 料 ）	2,246	2,190	1.2%	△56	△2.5%
（ 消 費 税 等 ）	5,580	9,443	5.2%	3,862	69.2%
（ 研 究 開 発 費 ）	1,534	1,767	1.0%	233	15.2%

主な増減要因

【販管費】

・消費税等
(消費税増税分等)

※構成比は売上に対する比率

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	H26/3末	H27/3末	増減額
流動資産	53,373	60,096	6,722
固定資産	63,921	70,044	6,123
有形固定資産	42,123	48,819	6,696
無形固定資産	11,103	10,376	△727
投資その他	10,694	10,848	154
資産合計	117,295	130,141	12,846
流動負債	55,666	53,474	△2,192
固定負債	45,779	59,031	13,252
負債合計	101,446	112,505	11,059
純資産合計	15,849	17,635	1,786
自己資本	15,849	17,635	1,786
自己資本比率	13.5%	13.6%	—

主な増減要因

【流動資産】

- ・売掛金 +2,606
- ・商品及び製品 +3,746

【固定資産】

- ・建物及び構築物 +4,658
- ・土地 +1,724
- ・建設仮勘定 △2,278

【流動負債】

- ・買掛金 +4,444
- ・短期借入金 △2,650
- ・1年内償還予定の社債 △7,000
- ・1年内返済予定の長期借入金 +2,179

【固定負債】

- ・長期借入金 +11,018
- ・長期割賦未払金 +1,471

【純資産】

- ・利益剰余金 +2,557
- ・自己株式 △887

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3
営業活動による キャッシュ・フロー	6,243	5,831
投資活動による キャッシュ・フロー	△14,510	△8,437
財務活動による キャッシュ・フロー	8,782	1,422
現金・現金同等物の 増減額	514	△1,183
現金・現金同等物の 期首残高	14,513	15,027
現金・現金同等物の 期末残高	15,027	13,844

主な内訳

【営業活動によるCF】

・税金等調整前当期純利益	5,531
・減価償却費	3,631
・売上債権の増減額	△2,748
・たな卸資産の増減額	△4,545
・仕入債務の増減額	+4,422
・法人税等の支払額	△2,591

【投資活動によるCF】

・有形固定資産の取得による支出	△5,808
・事業譲受による支出	△2,330

【財務活動によるCF】

・長期借入による収入	17,300
・長期借入金の返済による支出	△4,101
・自己株式の取得による支出	△1,019

調剤薬局事業 セグメント別売上高・営業利益

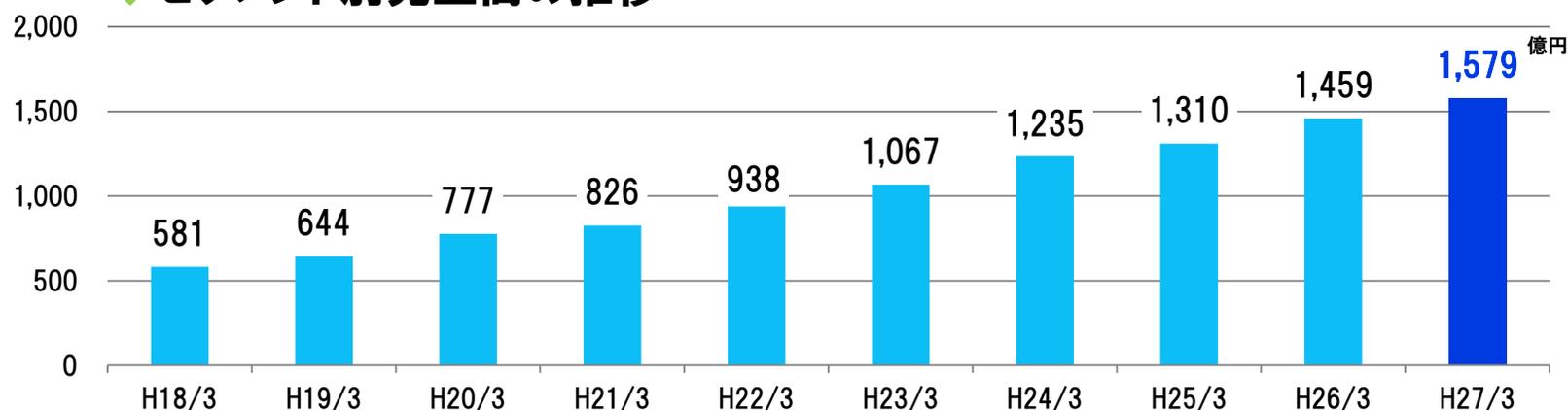
(単位:百万円)

	H24/4-H25/3	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	増減額	増減率
売上高	131,052	145,957	157,999	12,042	8.3%
営業利益	6,784	7,672	7,698	26	0.3%
対売上比(%)	5.2%	5.3%	4.9%	-	-

※セグメント間取引消去前

(億円)

◆セグメント別売上高の推移

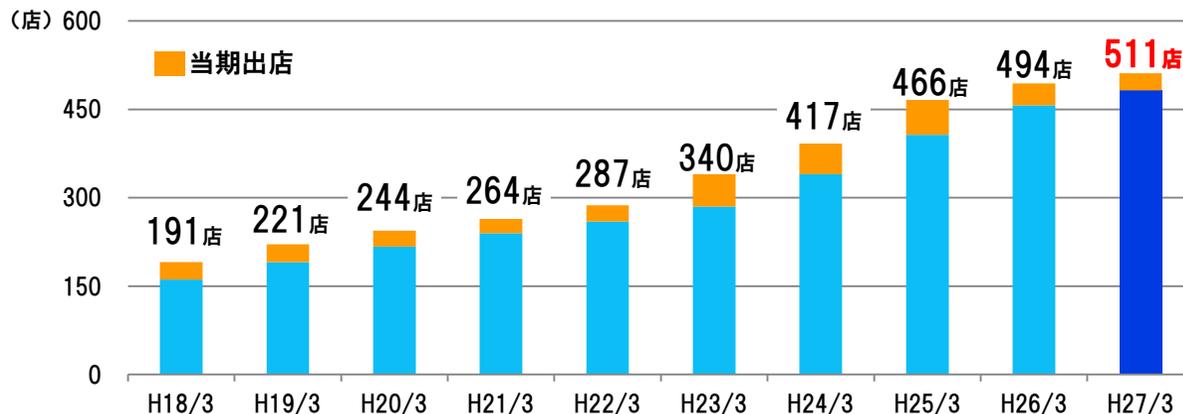


調剤薬局事業 出店実績推移

	H26/4-H27/3 実績
出店数	29
閉店数	12
総店舗数(3月末)	511 [*]

※物販専門の1店舗を含む

◆各期末店舗数の推移



◆当期出店店舗 (開局順)

新松戸薬局	千葉県松戸市	なめがた薬局	茨城県行方市	神田駿河台薬局	東京都千代田区
永山薬局	東京都多摩市	光明池薬局	大阪府和泉市	松阪薬局	三重県松阪市
麻溝薬局	神奈川県相模原市	大曲南薬局	秋田県大仙市	根津薬局	東京都文京区
中村日赤前薬局	愛知県名古屋市	駿河台下薬局	東京都千代田区	大正薬局	神奈川県横浜市
大曲薬局	秋田県大仙市	越前薬局	福井県越前市	美濃加茂薬局	岐阜県美濃加茂市
いりなか駅薬局	愛知県名古屋市	あすと長町薬局	宮城県仙台市	佐世保中央薬局	長崎県佐世保市
歌舞伎座タワー薬局	東京都中央区	長町一丁目薬局	宮城県仙台市	深堀薬局	北海道函館市
宮益坂薬局	東京都渋谷区	名市大前薬局	愛知県名古屋市	境町薬局	茨城県猿島郡
三鷹台薬局	東京都三鷹市	紀美野薬局	和歌山県海草郡	紀の川薬局	和歌山県紀の川市
こすぎ薬局	神奈川県川崎市	呉薬局	広島県呉市		

調剤薬局事業 出店期別売上傾向

改定年度ながら処方日数長期化などにより、処方せん単価が緩やかに上昇。

前年出店効果などにより処方せん枚数も増加。

◆日本調剤グループ出店期別 店舗調剤売上の推移

(単位:百万円)

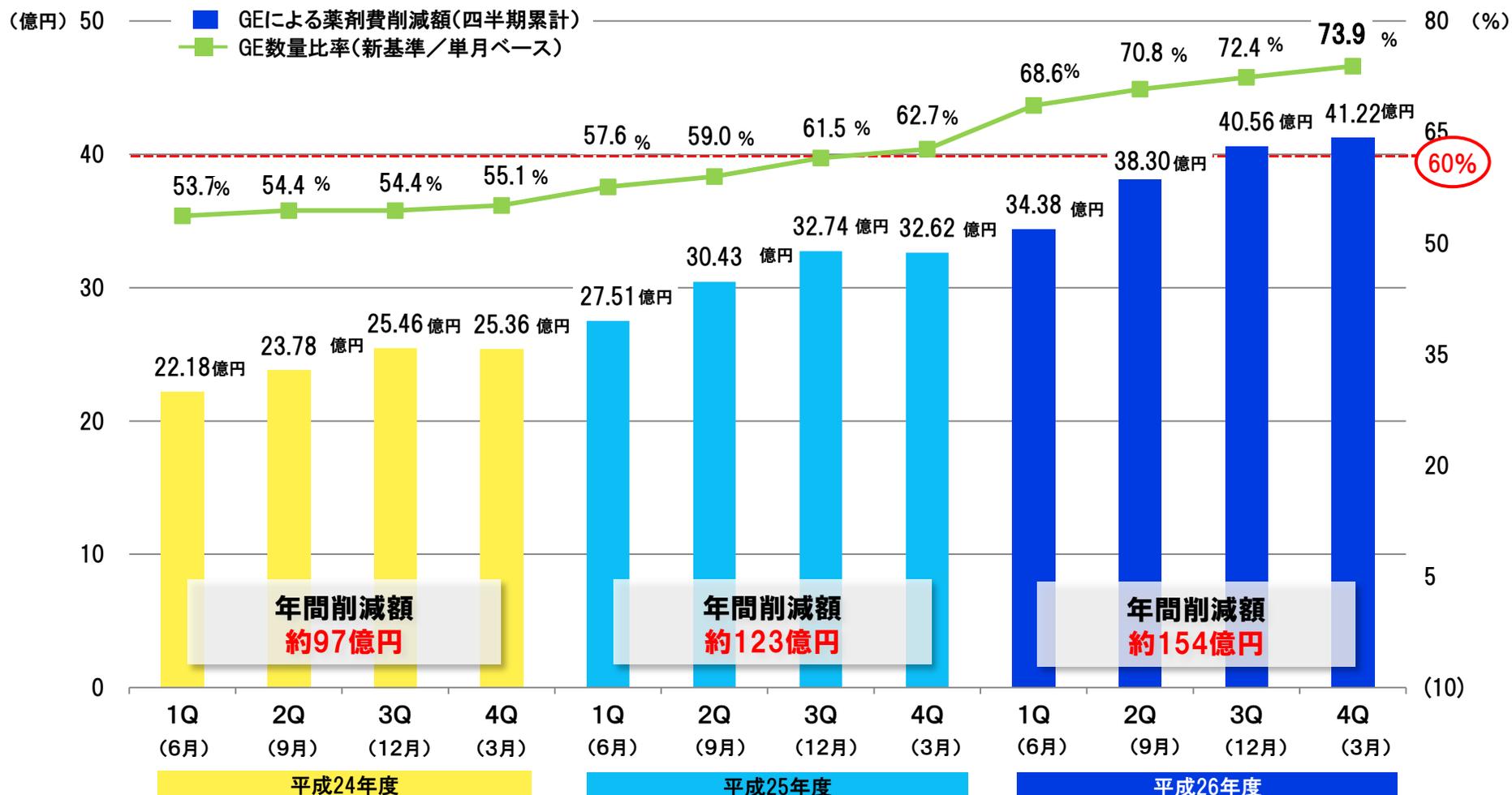
	H27/3末 店舗数	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	増減額	増減率
既存店 (~H25/3)	445	139,657	145,813	6,155	4.4%
前期出店 (H25/4~H26/3)	36	2,776	6,402	3,626	130.6%
今期出店 (H26/4~H27/3)	29	—	3,064	3,064	—
その他	—	1,233	627	△606	△49.2%
計	510	143,667	155,907	12,240	8.5%

- ・ 調剤売上のみ(OTC等含まず)、発生ベース(返戻再請求を反映せず)。
- ・ 期中閉局店舗分はその他に集計しております。
- ・ 店舗数には物販専門の1店舗を含んでおりません。

調剤薬局事業 ジェネリック医薬品普及への取り組み

政府目標の60%を大きく超過、全社平均で70%超え。

全社平均85%超えに向け、さらに取り組みを強化。



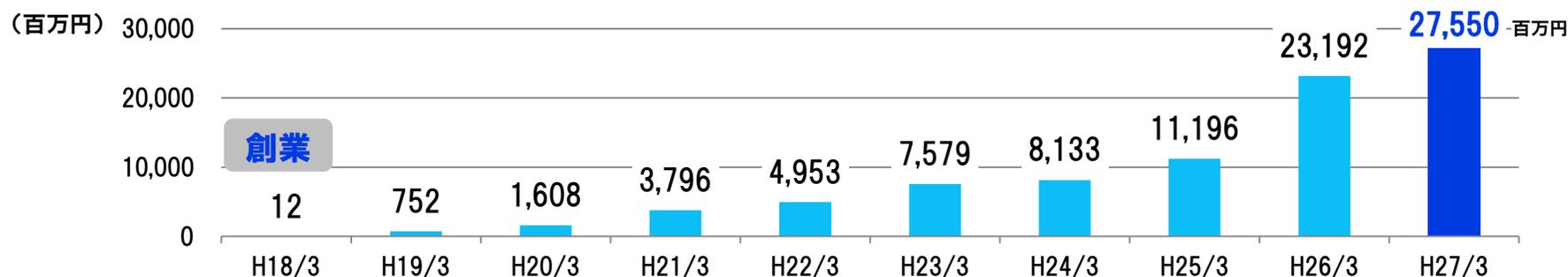
医薬品製造販売事業 セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

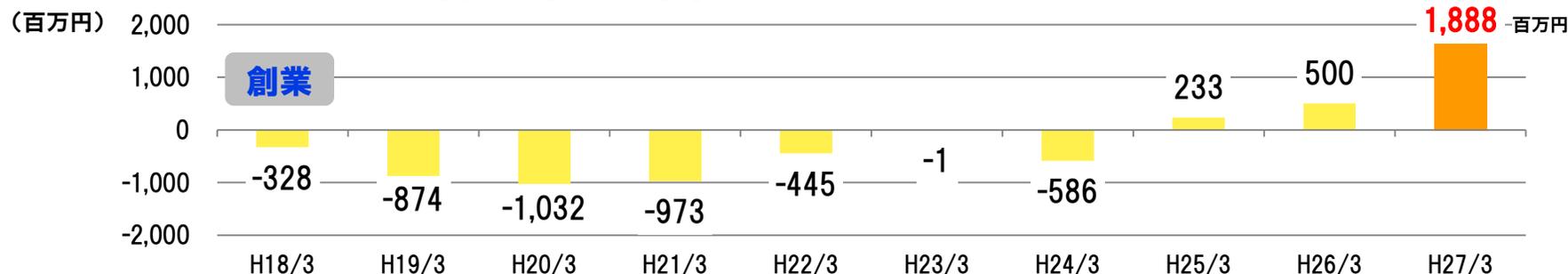
	H24/4-H25/3	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	増減額	増減率
売上高	11,196	23,192	27,550	4,357	18.8%
営業利益	233	500	1,888	1,388	277.6%
対売上比(%)	2.1%	2.2%	6.9%	-	-

※セグメント間取引消去前

◆セグメント別売上高の推移

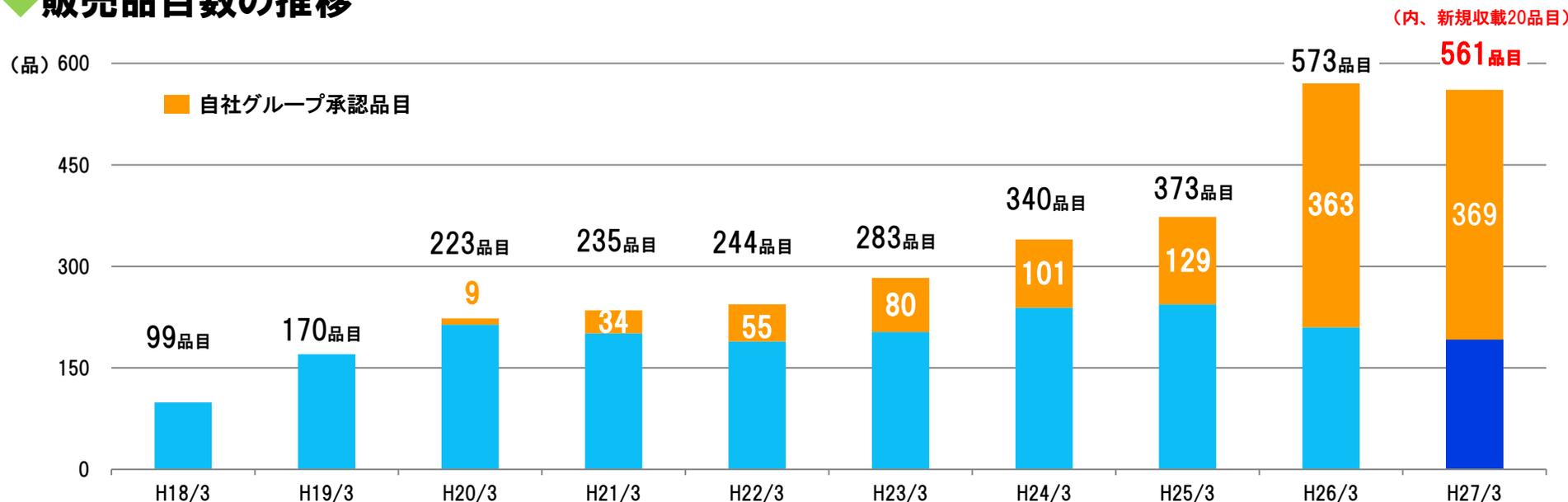


◆セグメント別営業利益の推移



医薬品製造販売事業 販売品目

◆販売品目数の推移



◆平成27年6月 薬価基準収載予定品(19品目)

名称
クロピドグレル錠25mg「JG」
クロピドグレル錠75mg「JG」
メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「JG」
メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「JG」
ナフトピジル錠25mg「JG」
ナフトピジル錠50mg「JG」
ナフトピジル錠75mg「JG」

名称
ナフトピジルOD錠25mg「JG」
ナフトピジルOD錠50mg「JG」
ナフトピジルOD錠75mg「JG」
レトロゾール錠2.5mg「JG」
イマチニブ錠100mg「JG」
ゾルミトリプタンOD錠2.5mg「JG」
ピタバスタチンCa錠1mg「JG」

名称
ピタバスタチンCa錠2mg「JG」
ピタバスタチンCa錠4mg「JG」
タクロリムスカプセル0.5mg「JG」
タクロリムスカプセル1mg「JG」
タクロリムスカプセル5mg「JG」

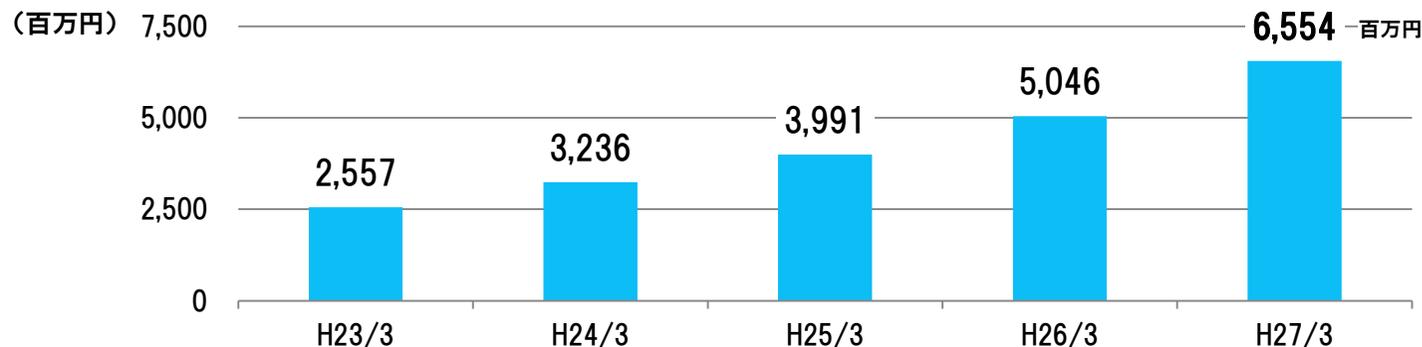
医療従事者派遣・紹介事業 セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

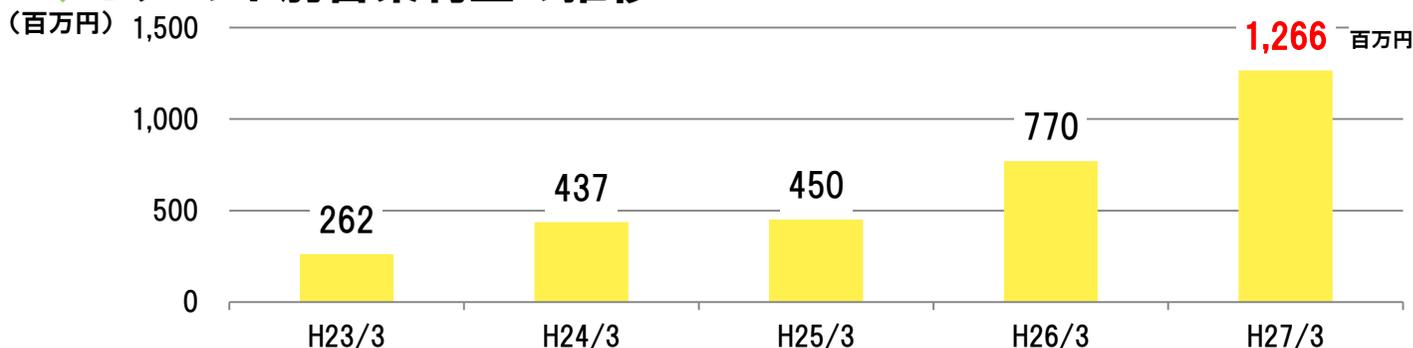
	H24/4-H25/3	H25/4-H26/3	H26/4-H27/3	増減額	増減率
売上高	3,991	5,046	6,554	1,507	29.9%
営業利益	450	770	1,266	495	64.3%
対売上比(%)	11.3%	15.3%	19.3%	-	-

※セグメント間取引消去前

◆セグメント別売上高の推移



◆セグメント別営業利益の推移



平成28年3月期 業績目標

◆ 連結業績目標

(単位:百万円)

	H27年3月期 実績	H28年3月期 目標	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	181,844	207,523	25,678	14.1%
営業利益	6,647	8,200	1,552	23.4%
対売上比(%)	3.7%	4.0%	-	-
経常利益	6,003	7,434	1,431	23.8%
当期純利益	2,778	3,583	805	29.0%

◆ 事業セグメント別売上目標(セグメント間取引消去前)

(単位:百万円)

	H27年3月期 実績	H28年3月期 目標	対前年比	
			増減額	増減率
調剤薬局事業	157,999	175,612	17,612	11.1%
医薬品製造販売事業	27,550	34,761	7,211	26.2%
医療従事者派遣・紹介事業	6,554	8,500	1,945	29.7%
合計	192,104	218,873	26,769	13.9%

I-②. 日本調剤グループ新中計の概要

主要目標

企業理念

“真の医薬分業”の実現

主要
目標
(平成30
年3月期)

売上高

50%増の達成

平成27年3月期:1,818億円
平成30年3月期:2,738億円

営業利益

倍増

平成27年3月期:66億円
平成30年3月期:122億円

営業利益率

4.5%に引上げ

平成27年3月期:3.7%
平成30年3月期:4.5%

コーポレート
ガバナンス

コーポレートガバナンス・コードの適切な実践
による企業価値の向上

※上記数値目標はいずれも連結ベース(セグメント間取引消去後)

重点施策

調剤薬局事業部門

- ・在宅医療の推進
- ・ジェネリック医薬品の徹底的な使用促進
- ・多様な出店形態による積極的な出店施策の継続
- ・各種制度改革に向けた万全な受入れ体制の確立

医薬品製造販売事業部門

- ・市場成長率を上回る業容拡大の実現
- ・業界トップクラス水準の販売品目数の確保
- ・高品質な製品の安定供給体制の確立

医療従事者派遣・紹介事業部門

- ・年間売上高100億円の大台早期達成
- ・月間総エントリー数の増強

情報提供・コンサルティング事業部門

※当該事業部門の売上高等数値につきましては、調剤薬局事業部門に含めております。

- ・データ提供事業における新製品の開発

各セグメント毎の売上目標

平成30年3月期
(目標)

平成27年3月期
(実績)

増加額

増加率

調剤薬局事業部門

※情報提供・コンサルティング事業部門を含む

2,176億円

1,579億円

596億円

37.7%

医薬品製造販売事業部門

557億円

275億円

282億円

102.4%

医療従事者派遣・紹介事業部門

140億円

65億円

74億円

113.6%

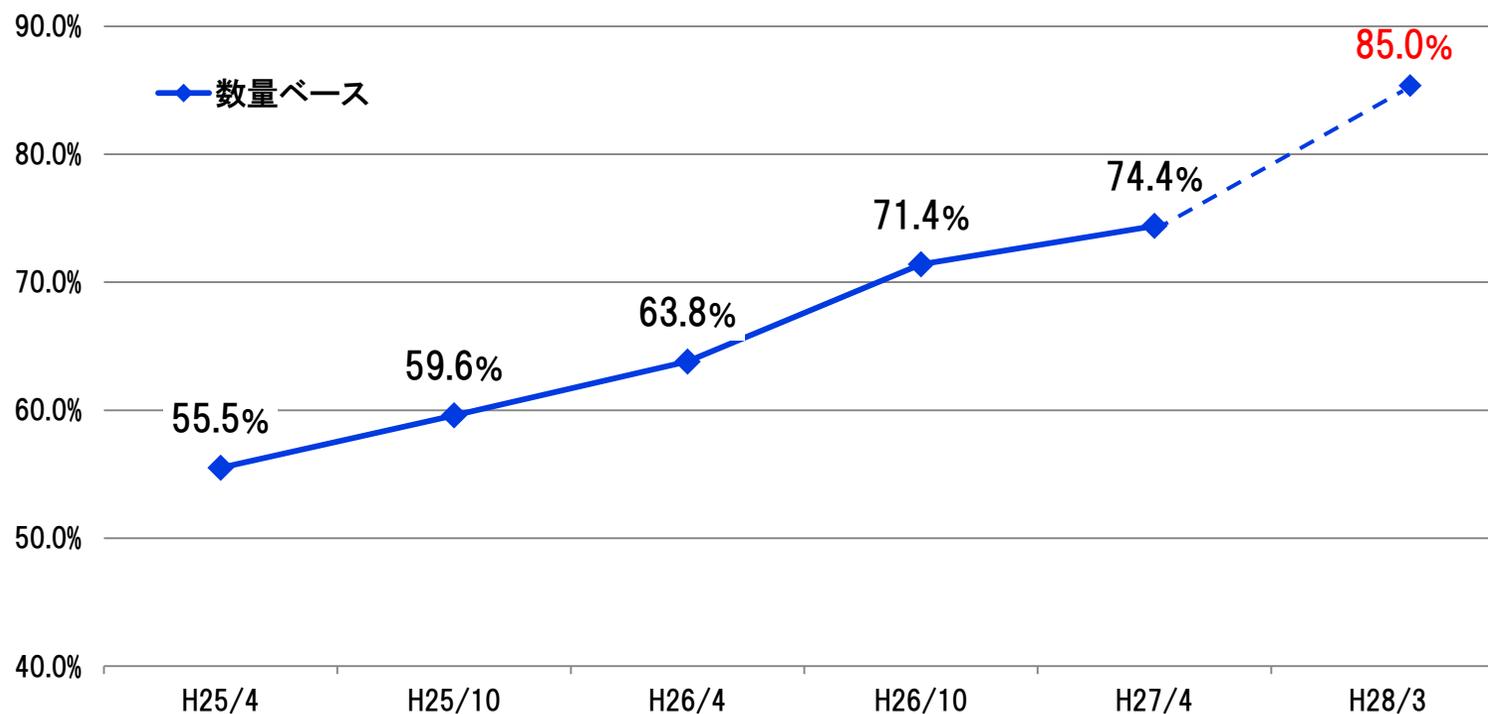
※セグメント内取引消去後、セグメント間取引消去前

II. 日本調剤グループの事業展開

1. ジェネリック医薬品普及への取り組み

政府目標(平成30年3月、60%)は早期に達成、直近では74.4%に。
平成27年度末には85%到達を目指す。

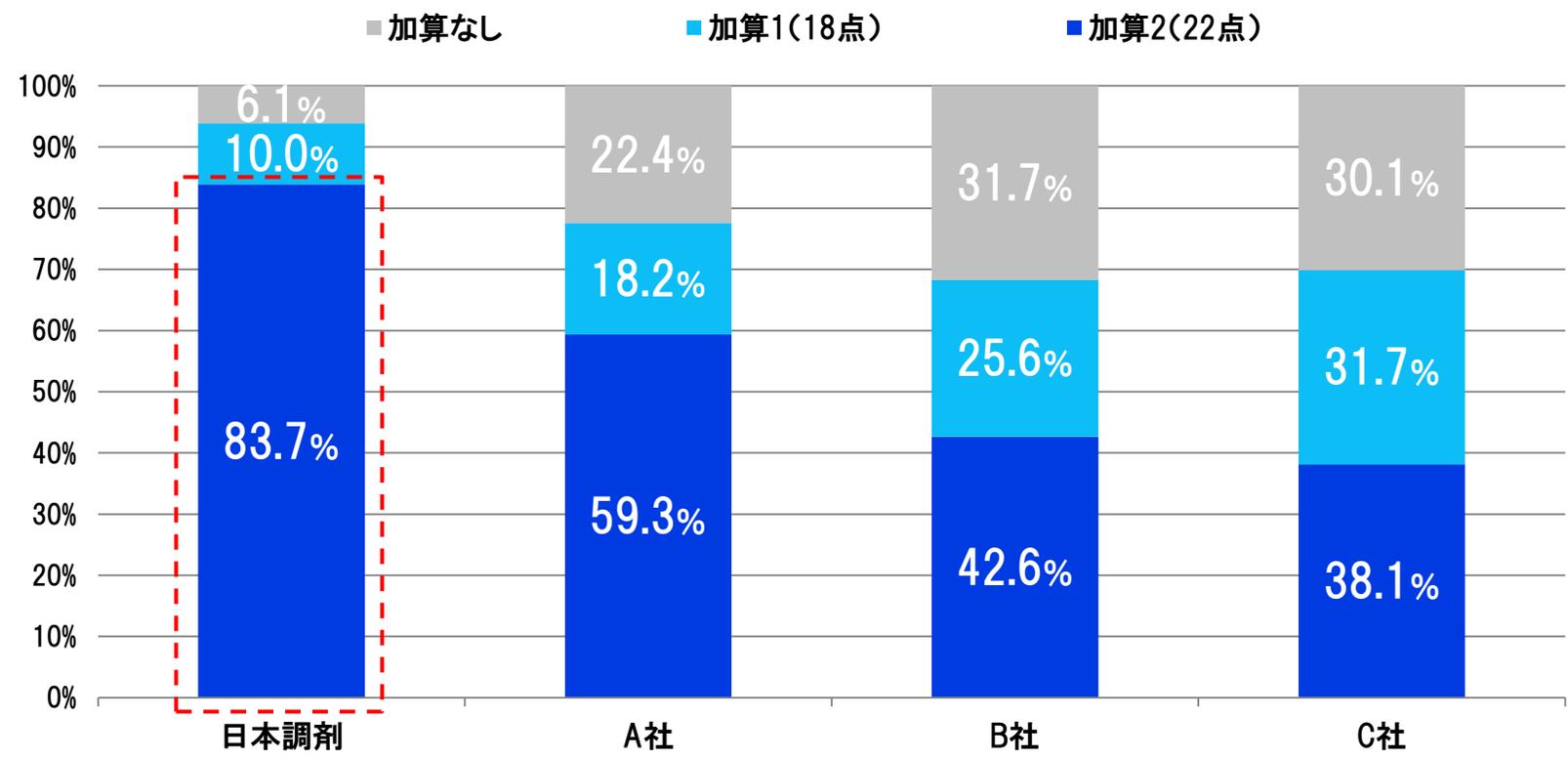
ジェネリック医薬品使用率(数量ベース) 全社平均



1. ジェネリック医薬品普及への取り組み

後発医薬品調剤体制加算では加算2(22点)が全体の83.7%に上昇。
大手競合との比較においても加算2ならびに加算1の算定が進んでいる。

後発医薬品調剤体制加算 算定状況

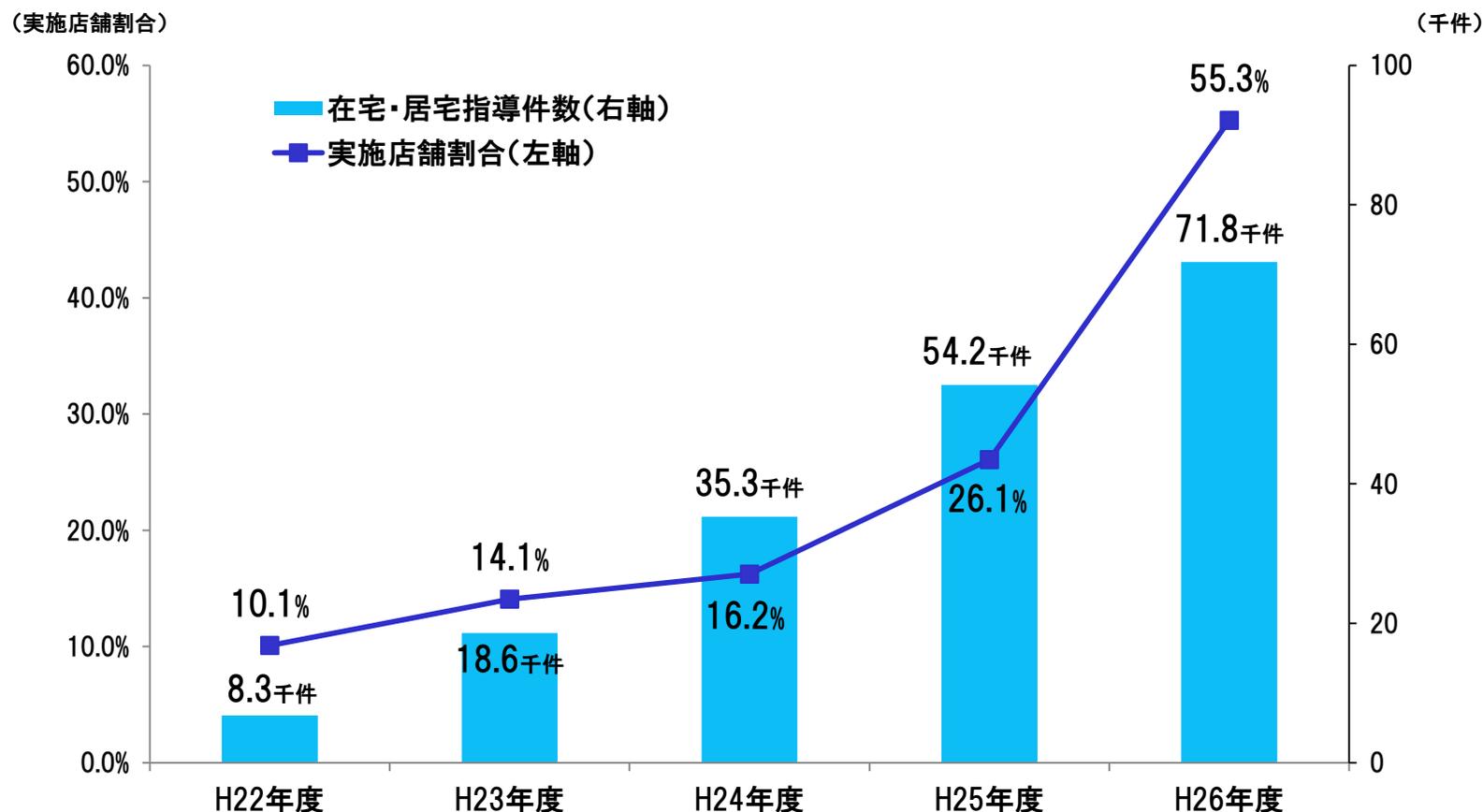


※A社、B社、C社は全国展開している大手調剤薬局チェーン
数値は平成27年4月 各厚生局公表「施設基準の届出受理状況」より集計

2. 在宅・介護分野への取り組みについて

在宅医療(居宅療養管理指導)の指導件数も大きく上昇
全店舗での在宅医療の実施を目指す。

在宅医療実績(居宅療養管理指導)

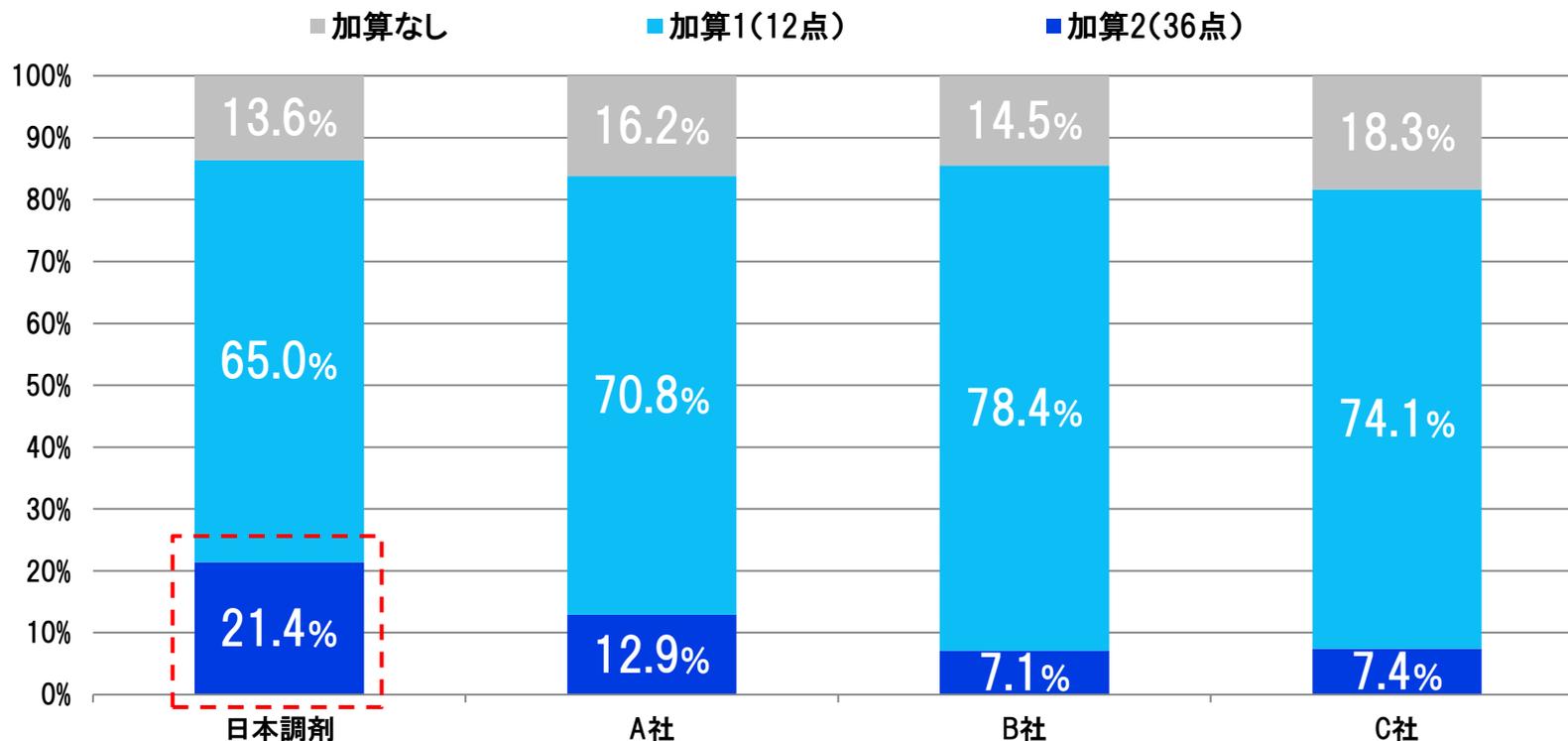


※実施店舗割合(左軸)は年度末の月次数値

3. 改定への対応状況

在宅医療の取り組み強化により基準調剤加算2の算定が20%を超える。
加算2の割合は競合比較でも高水準に。

基準調剤加算 算定状況

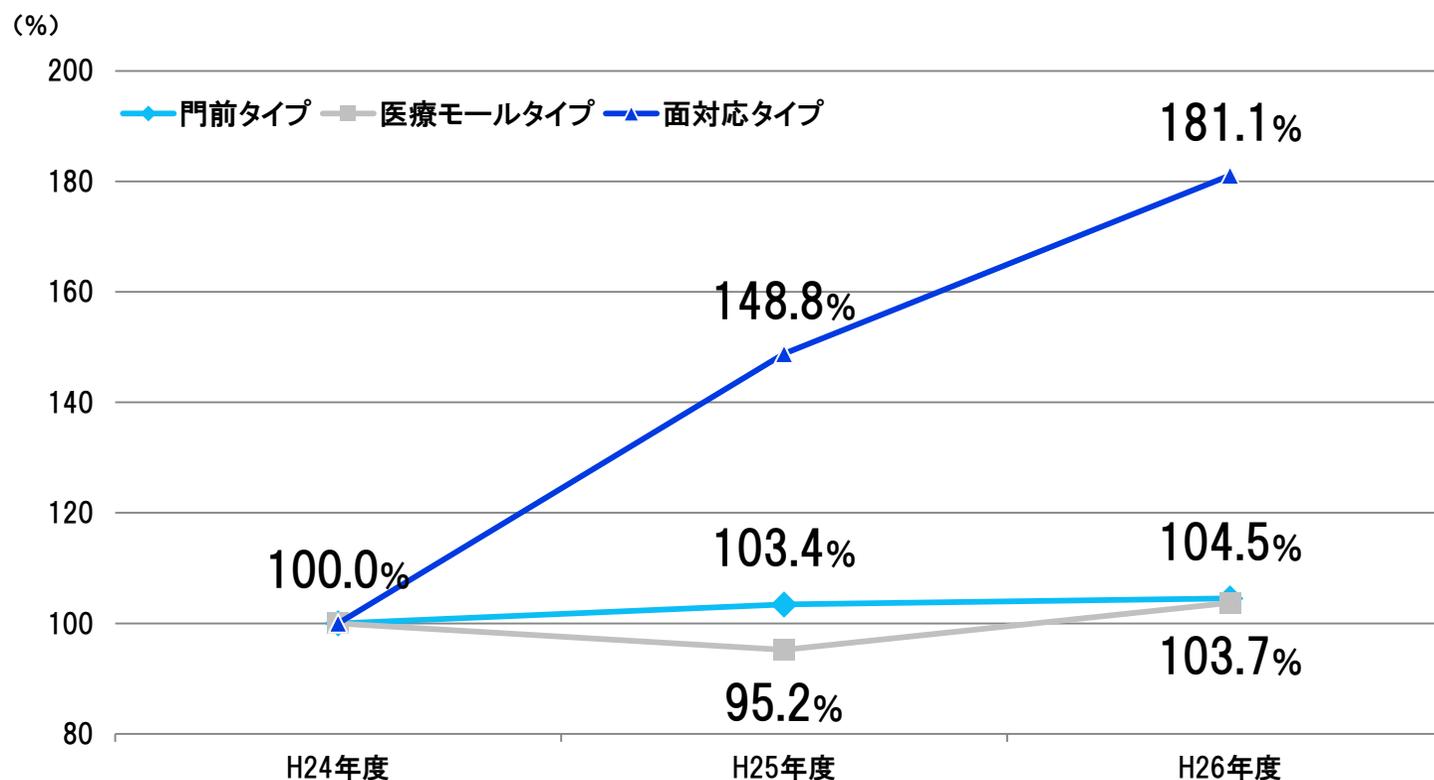


※A社、B社、C社は全国展開している大手調剤薬局チェーン
数値は平成27年4月 各厚生局公表「施設基準の届出受理状況」より集計

4. 面対応薬局の成長

各地域での認知が高まり、面対応タイプの薬局が大きく成長。
 駅前タイプ、医療モールタイプは堅調に成長を継続。

薬局タイプ別 1店舗平均売上増加率（対H24年度）



※各タイプごとにH24年度の1店舗あたりの平均売上額を基準とし、各年度の比を算出

5. 調剤薬局のコンプライアンス

業界にて、調剤薬局運営に関する不祥事が多発。
創業以来、コンピューターを駆使し、不正を起こさせない管理体制を構築。

(1) 薬歴(薬剤服用歴)未記載問題

- ・全店舗に電子薬歴を導入
全ての受付処方せんについて薬歴の記載状況を把握
- ・全店舗に音声入力システムを導入
タイピング入力による負担を軽減、業務効率化を推進

(2) 無資格者による調剤行為

- ・全店舗に静脈認証システムを導入
なりすまし防止、薬剤師以外は業務を進められないシステム
- ・白衣の色分け、名札着用により薬剤師と医療事務を明確に区別
薬剤師以外には、計数調剤をはじめとする一切の『調剤行為』を禁止

6. 医薬品製造販売事業の展開

グループの生産体制を強化。

つくば工場S棟(日本ジェネリック)、本社第二工場(長生堂製薬)の生産能力拡大。
春日部工場(日本ジェネリック)の取得も完了。

グループ年間最大生産能力（錠剤・カプセル剤）

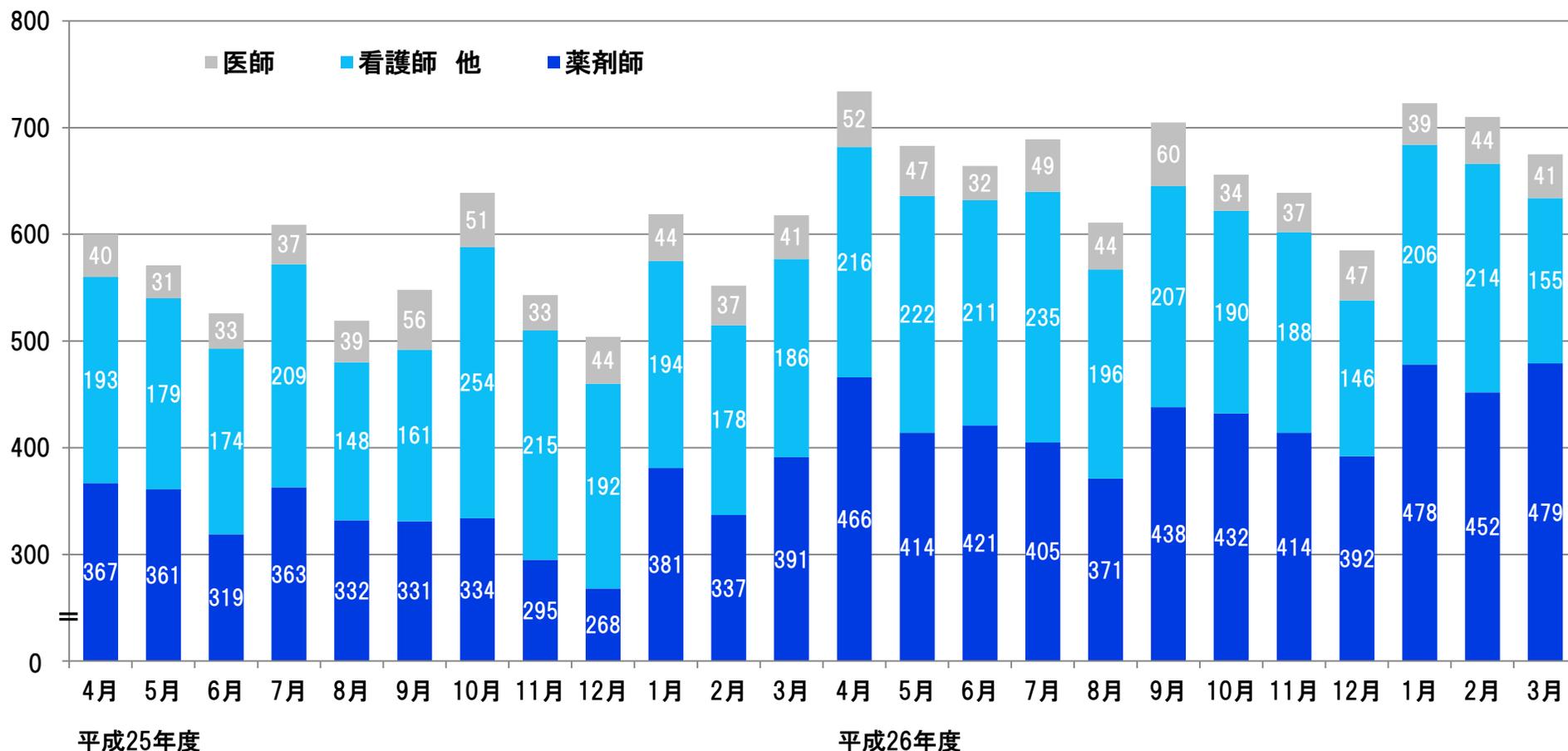
(単位:億錠)

社名	工場名	H26/3	H27/3
日本ジェネリック	つくば工場 N棟	10	10
	つくば工場 S棟		13
	春日部工場		9
長生堂製薬	本社工場	7	7
	本社第二工場		2
	川内工場	2	2
	合計	19億錠	43億錠

7. 医療従事者派遣・紹介事業の展開

薬剤師派遣・紹介事業のパイオニアとして業界トップクラスの登録者数、実績を誇る。
医師・看護師・コメディカル紹介事業における登録者数、紹介実績も着実に上昇。

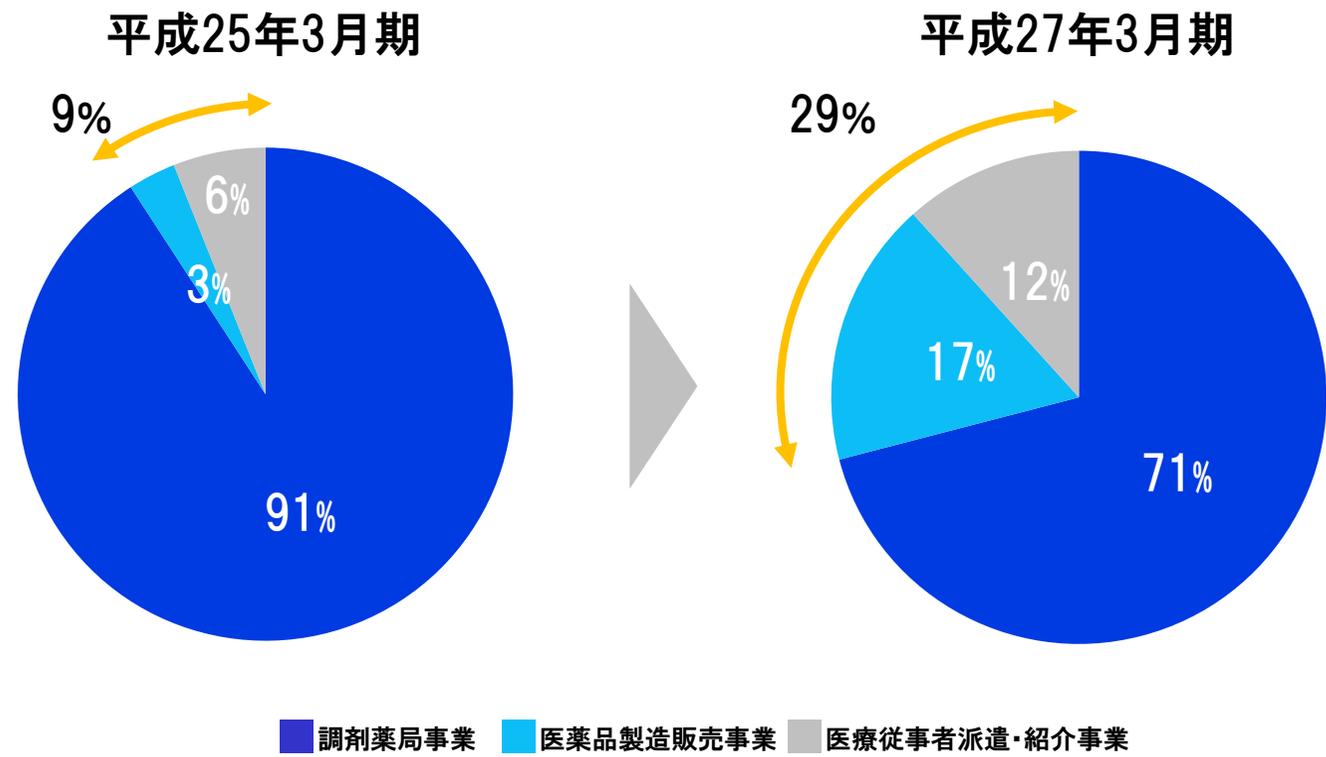
職種別 エントリー数 推移



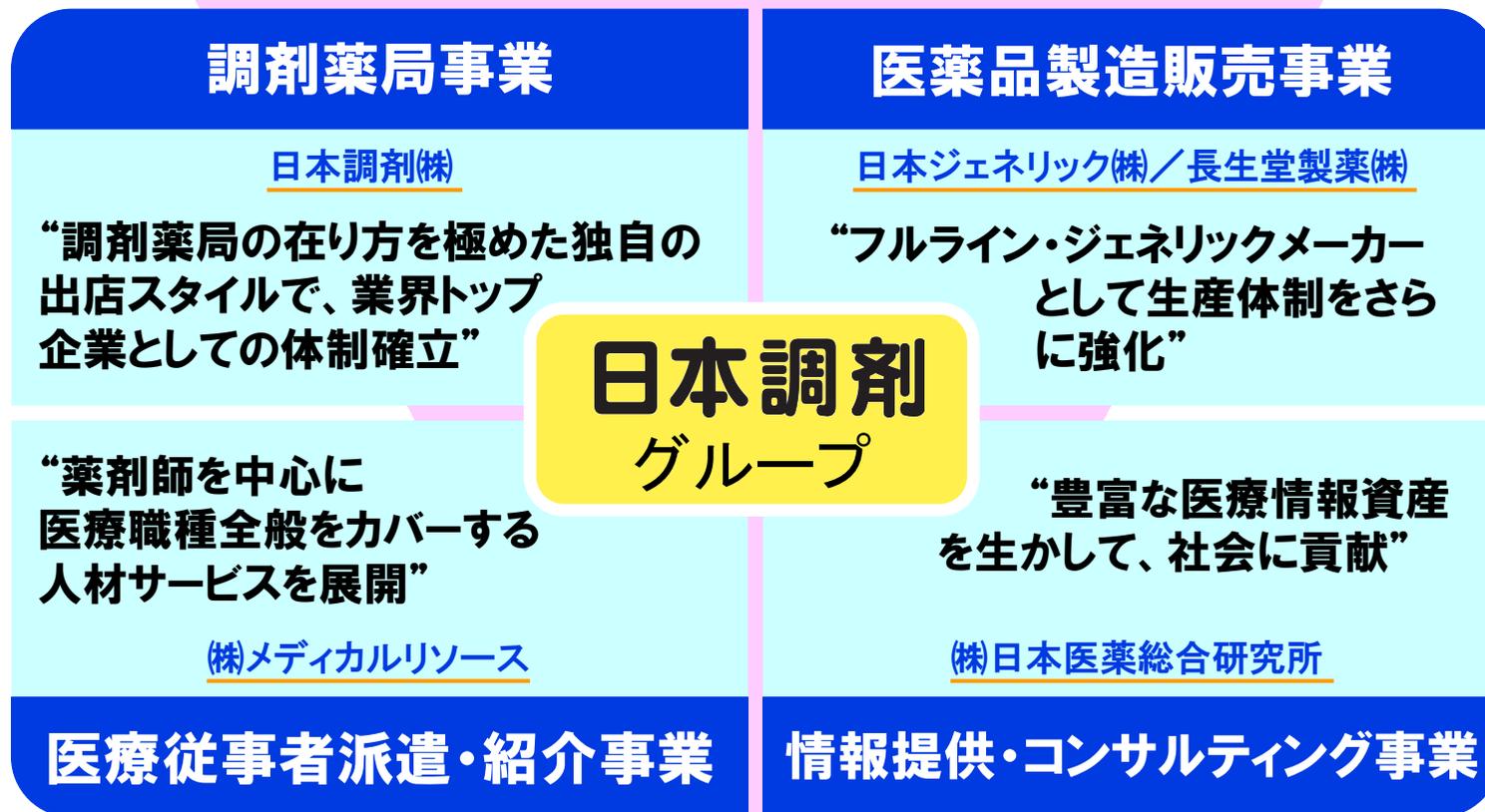
8. セグメント別 利益推移

医薬品製造販売と医療従事者派遣・紹介による利益はグループ全体の9%から29%と大きく拡大。グループ成長の牽引役へ。

セグメント別 利益推移



日本調剤グループの事業展開



**社会保障の効率化を実現できる医療グループとして
日本の医療に貢献します**

注意事項

本資料は、本年4月30日に発表しました「平成27年3月期決算短信」の決算補足説明資料として、同期間の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている日本調剤株式会社及び同社子会社の業績目標、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘のため作成されたものではありません。投資を行う際には、十分に投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

【IRお問い合わせ先】



〒100-6737

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

グラントウキョウノースタワー37F

Tel : 03-6810-0800(代表)

E-Mail : ir-info@nicho.co.jp

IR専用ページ : <http://www.nicho.co.jp/ir>

担当 : 経営企画部 IR担当まで